

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	いきるちから1				公表日	令和 8年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	フロア内で静と動のエリアを作り、けがの無いように行動できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	所定人員、作業療法士、保育士が在籍している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	こどもたちが動きやすいように椅子を配置したり、玩具はどこに置いてよいかを視覚的にわかるようにしている。お名前カードを用いて、ロッカーに自分の荷物の管理をしてもらう際に、文字だけでわかりにくいご利用者様にわかりやすくするためにシールを貼ってみたりと、ご利用者様の特性に合わせる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	エアコン清掃、フロアマットをめぐっての清掃を定期的に行っている。毎週木曜日を通常できない清掃と消毒の日と決め、清潔に保つように心掛けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	気持ちを落ち着けたいとき、疲れたとき、静かに過ごしたい時、宿題を取り組みたい時など個室を使ってもらっている。ご利用者様が使いたいかを選択できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者様のいただいた意見をスタッフに共有し、話し合いの場を作り、よりよい支援に繋げられるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の朝礼、昼礼の時間を設けたり、月一回の全事業所ミーティングを行い意見を出し、共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		第3者による監査はまだ取り入れていないが、法人内部での社内監査を行い評価をし、業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	研修マニュアルを作り、月1回研修を行っている。また、外部研修で、児発管研修、虐待防止研修などに参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者様と面談でお話し、お聞きしたお話と子どもの現状をスタッフと話し合いを行ない、保護者様とご利用者さんとスタッフの意見を基に計画書を作成し、保護者様に見ていただいている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	適宜、保護者様と面談を行い、保護者様のニーズを把握し、ご利用者様にお話をしたうえで、作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	モニタリング会議では、スタッフ全員の意見を集約し、5領域に沿って計画を作っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	原案作成後、会議を行い、その場にはいないスタッフには回覧を行い、スタッフ全員に確認してもらい、意見の相違が無いかを確認したのちに支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	事業所独自の評価表やアセスメントシートを作成し、定期的に評価を行い、確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	保護者様とのご面談時のお話を基に保護者様、ご利用者様のニーズや思いを引き出して計画書の作成を行っています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	月に一度スタッフ全員で話し合いを行い、支援内容を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	スタッフ同士で意見を交換したり、いろいろな場面でアンテナを張り、同じ取り組みにならないよう、ご利用者が毎回楽しんで参加してもらえるようなものを作っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	1日のスケジュールに、個別活動と集団活動を取り入れていき、毎日取り組めるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼、昼礼で、前日のご利用者様のご様子や、取り組み内容に対する姿勢、当日のご利用者様の注意することなどを話し合い、連携して支援できるように進めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	送迎時に今日のご利用者さまのご様子を伝えながら、お家のご様子などをお聞きしたことを戻す際にスタッフに伝えている。また、そのお話を基にし、スタッフ間での話し合いを行い、周知できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	その日の行動を連絡帳にまとめたり、個別の専門的支援計画書に基に記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にスタッフで話し合いを行ない、様々な分野からの意見を出し合い、支援の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2	1日のご利用の中で、集団活動、個別活動の両方を取り入れ、個別活動ではご利用者様の取り組みたい遊びを行ってもらい、見つからない場合はスタッフが一緒に考え、集団活動では、指先のとレーニンが等の微細運動から体幹強化のための粗大運動、ビジョントレーニングや製作活動と幅広く提供できるように心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	ご利用者様が取り組みたい遊びを選択し取り組んでもらっています。また、おやつを食べるや宿題を取り組むか、いつ取り組みたいか等ご利用者様が選択を行い、行動していただいている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	スタッフで話し合いを行ない、意見をまとめ、意見の言えるスタッフが参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	情報の共有を行うために、学校に訪問させていただいたり、こちらに来ていただいご様子を見てもらう場を作っている。また、ご利用者さんのご様子をお話したり、まとめたものをお渡しをし、情報の共有を進めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	道路事情などで、送迎時間が遅れる際には速やかに学校に連絡を行っている。また、行事等で通常のお迎え時間ではない時もあるため、月間の予定表などをいただいていることもあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	保護者様の同意を得て、園に訪問を行い支援の方法などのお話し合いを行ない、情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9		現在ご利用されている方で、該当される方がいらっしゃいません。今後該当される方がいらっしゃれば、連携を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	9		対象のご利用者様がいらっしゃらないので、もう少し意識して機会を設けていけるようにしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		まだ出ていないので、今後交流できるように検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	月一回の子ども部会に参加し、他事業者さんとの交流や、取り組みなどを教えていただく場になっています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に今日のご利用時のご様子を伝え、お家のご様子をお聞きし、照らし合わせて等を行い、情報の共有を行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	ご家庭については、都度ご面談や、電話での対応を行い、お困りごとなどの対応は行っている。また、短時間ではあるが座談会を行い、他の保護者様と一緒にお話をする機会を設けています。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2	ご契約時に重要事項説明書を用いてご説明を行い、保護者様にご理解をいただけるように進めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	ご面談時に保護者様のニーズ、ご利用者様には何をしたいかをお聞きし、それ基にスタッフで話し合いを行ない、子どもの最善の利益を優先を考慮しながら立案するように心掛けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	送迎時やお電話などで説明し、同意を得るようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	計画時にご面談を行い、悩みごとをお聞きし、助言を行ったり、相談があった際も迅速に対応できるように、スタッフ間で共有し、助言できるような体制を整えています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	1	春の遠足行事や、クリスマス会、出発式、などで保護者様同士でお話し、お困りごとなどをお聞きしたり、皆さんで意見を出し合ったりする場を設けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談事や申し入れ、苦情などにも速やかに対応できるようにスタッフ間で情報を共有し、話し合いを行ない対策を考え、お伝えできるように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎日のブログで、活動の内容や取り組み、ご利用者様のご様子などをお知らせし、システムを用いて、活動予定などの情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	帳簿類、パソコンのデータは外付けハードディスクに入れ、金庫保管を行っている。ブログなどの顔だしNGなどはご契約時にお聞きし、スタッフに周知している。状況に応じて、ブログに使用している写真は顔、名札などご利用者さんが特定されるものにはスタンプを用いています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	必要に応じて、絵カードやタイマーや字を書いてなど、そのご利用者さんの特性に応じたものを用いて対応をしています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		施設から出向いての交流の場は少しずつ行っているが、招待を行う場を設けることが出来ていないので、今後検討を行っていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	マニュアル委員会を立ち上げ、定期的にマニュアルの見直し場を作っています。想定訓練等も行い、ブログや連絡帳等で保護者様にお知らせを行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCPマニュアルに基づき会議を行い、スタッフに周知する場を設け、定期的に避難訓練を行い、どう逃げるか、どこに逃げるかをご利用者様と一緒に確認しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時にアセスメントを行い、基本情報を周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	現在のご利用者様にはいらっしやらないが、事業所独自の指示書を用いて対応できる体制づくりができています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	定期的に研修を行い、毎月始めにはヒヤリハットの振り返りを行い、ご利用者様が安全に活動してもらえようように対策を整えています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	ご契約時に避難場所をお伝えしています。また、緊急時のお手紙を保護者様に配布させていただいております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット事例があった際は、しっかりと内容を記入してもらい、スタッフ間で共有し、再発防止のための話し合いを行ないます。また、毎月月初めに振り返りを行い、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会が主となり、研修を行っています。また、外部研修にも参加していき、スタッフに共有を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	ご契約時に保護者様に説明を行い、計画書に記載しています。どうしても行わないといけない場合のご利用者様には説明をし、同意書を作成し、同意をいただいています。また、行った際は速やかに保護者様に経緯をご説明することになっております。		